

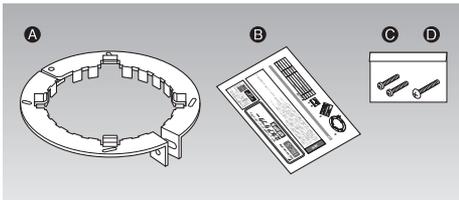


この製品は耐火キャップIRC-NX専用です。必ず耐火キャップIRC-NXと組み合わせて使用してください。

注意

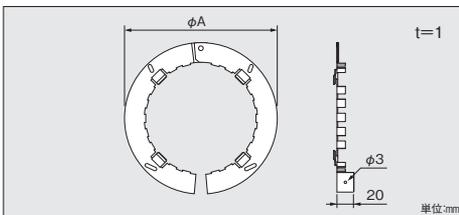
- 作業時は、作業用手袋などを着用してください。
- サイズ選定の際には占積率および金具最小内径を共に満たすことを確認してください。
- アダプターは、アダプター内径以下の配管に対して必ず使用してください。
- 区画貫通部では配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。
- 十分な場合はパテにすぎ間が生じたり、パテが落下する可能性があり、耐火性能を発揮できません。とくに縦引きの冷媒管の場合は、配管長の中央部に「パイブロックTKJ」を使用して配管を支持してください。
- 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。
- 合成スラブ貫通部に使用する場合は、所轄官公庁へ相談してください。

仕様



■ セット内容

記号	部品名	材質	数量
A	止水アダプター	SGCC	1
B	取扱説明書	-	1
C	なべタッピングビス M4×25L	ユニクロ	2
D	トラスタッピングビス M4×30L	ユニクロ	1



■ 寸法表

型番	適合止水スリーブ外径 (mm)	寸法 (mm)	
		φA	φ3
IRC-S75	81 ~ 86	129	
IRC-S100	101 ~ 106	154	
IRC-S125	126 ~ 131	179	
IRC-S150	151 ~ 156	204	

適用範囲概要 (詳細は認定書を確認してください)

(単位:mm)

床・壁構造 (国土交通大臣が認定したもの)	床	
	ALC・コンクリート	床 コンクリート
国土交通大臣認定番号	PS060FL-0776	PS060FL-1043
壁・床 厚み	100以上	70以上
開口部	形状	スリーブあり*1
	形状	スリーブあり*2
開口部	円形 (φ200以下)	円形 (φ160以下)
占積率 (開口面積に対する配管・ケーブルの前面積の総計割合)	63.0%以下	62.8%以下
配管種類	金属管 被覆金属管	被覆外径φ96 (金属管φ53.98、被覆厚20) 以下
	アルミニウム管 アルミニウム合金管 被覆アルミニウム管 被覆アルミニウム合金管	被覆外径φ80 (アルミニウム管φ38.1、被覆厚20) 以下
	硬質塩化ビニル管 被覆硬質塩化ビニル管	被覆外径φ100 (硬質塩化ビニル管φ60、被覆厚20) 以下
	結露防止層付硬質塩化ビニル管	外径φ76、厚さ9.5 以下
	断熱トンネル (外層・内層:塩ビ樹脂製) (断熱層:ポリエチレンフォーム)	外径φ37、厚さ6 以下
	トンネル系 (可とうポリエチレン管)	外径φ22 以下
	合成樹脂製可とう電線管 (CD管、PF管)	PF管: φ45.5 CD管: φ48 以下
	ケーブル (銅、ガラス繊維など)	総断面積159.5mm ² 、1本当たり 外径φ25以下 (導体38mm以下)

*被覆とは、ポリエチレンフォーム、難燃ポリオレフィンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、フェノールフォーム、合成ゴムフォーム (ニトリル、ブチル系ゴム) グラスウール、ロックウールを指します。

*金属管とは、鋼管 (JIS H 3300、JIS H 3320、JIS H 3401)、銅管 (JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)、ステンレス鋼管 (JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459) を指します。

*貫通穴径、配管外径から占積率を考慮して、サイズ選定してください。

*1...止水スリーブ径φ160以下。モルタル埋め直し。

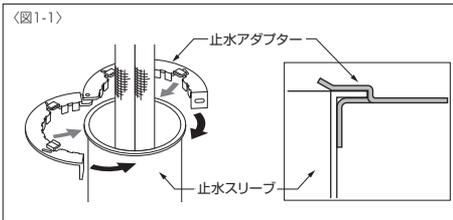
*2...止水スリーブ径φ160以下。コンクリート打設。

0. 配管を施工・固定します。

1. 止水アダプターを止水スリーブに設置します。

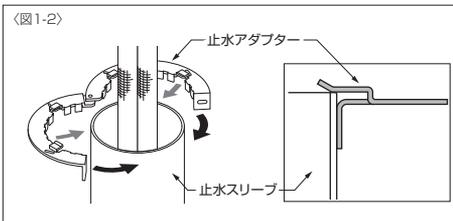
a. ツバ付き止水スリーブの場合

止水アダプターのツメをツバ部分に差し込むように取り付けます。〈図1-1〉



b. ツバ無し止水スリーブの場合

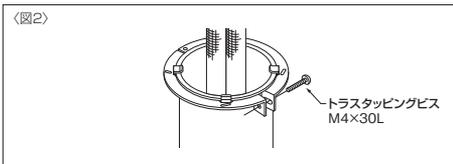
止水アダプターのツメを管端に載せませす〈図1-2〉



2. ねじを締めて止水アダプターを固定します。

付属のトラスタッピングビスで止水スリーブを固定します。

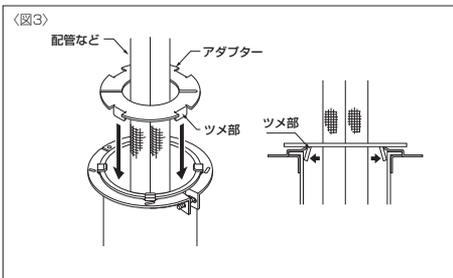
- ① 長穴側から取り付けてください。
- ② ビスが飛び出ますので注意してください。



3. アダプターの取り付け

配管がアダプター内径より小さい場合は、パテ落下防止のため、必ず、貫通穴にアダプターを挿入し、取り付けてください。〈図3〉

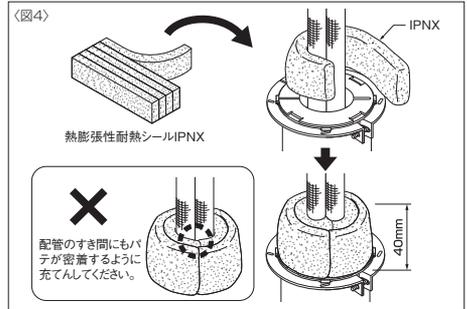
- ① 貫通穴内面にアダプターのツメが当たるように手で押し曲げて固定してください。



4. 配管へのパテ巻き付け

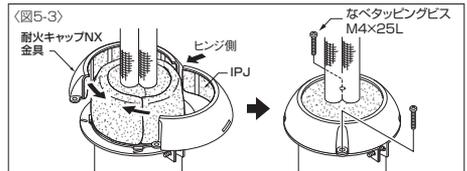
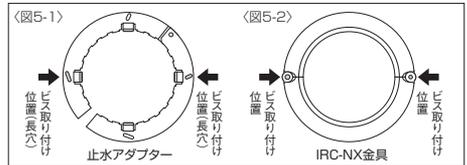
配管に対して付属の熱膨張性耐熱シールIPNXを図のように底面から高さ40mmになるように最大適合員通穴径まで1周以上巻き付けて、盛り付けておきます。〈図4〉

- ① 配管のすき間にもパテが密着するように注意して、充て込んでください。



5. 金具の取り付け

止水アダプターにある、金具取り付け用長穴（2箇所・〈図5-1〉矢印部分）と耐火キャップNX金具の取り付け用穴（〈図5-2〉矢印部分）を合わせて金具を設置し、付属のなべタッピングビスで固定します。〈図5-3〉



- ① ビス止めを金具のヒンジ側から行えば（反対側の穴は少し大きいため）取り付けやすくなります。
- ② 金具を取り付ける前に付属のパテ（耐熱シール材IPJ：象牙色）が金具にきちんと収まっているか確認して袋に入った状態で取り付けてください。
- ③ 耐熱シール材IPJを固定している金具（脚）の角度は0°（垂直）～フタ金具側へ傾斜しています。
- ④ 最大厚で施工する場合は配管と金具が接近しますので、その部分のパテ厚を調整してから金具を取り付けてください。

6. 仕上げ

残りの熱膨張性耐熱シールIPNXを全て金具内部に充てんし、金具に面一になるように仕上げて完成です。〈図6〉

- ① 配管周囲を（上から）押し過ぎると、IPNXが下側にはみ出して落下するおそれがありますので、金具内部へ押し広げる要領でIPJパテ袋に密着するように仕上げてください。
- ② 金具のヒンジ部と開口端部はパテが入りにくいので手でしっかりと充て込んでください。
- ③ 床下からも仕上げれば、より確実です。
- ④ IPNXが不足する場合には、別売の熱膨張性耐熱シールIPNXを別途購入ください。

